

## 1. 研究目的

札幌の四半期別観光需要を分析



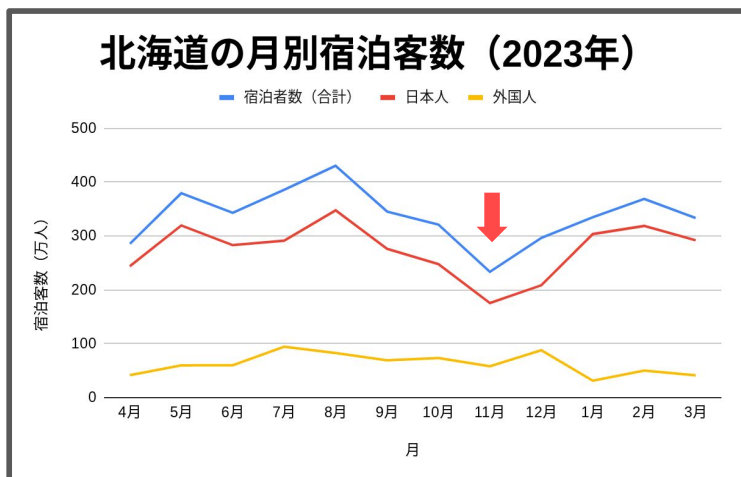
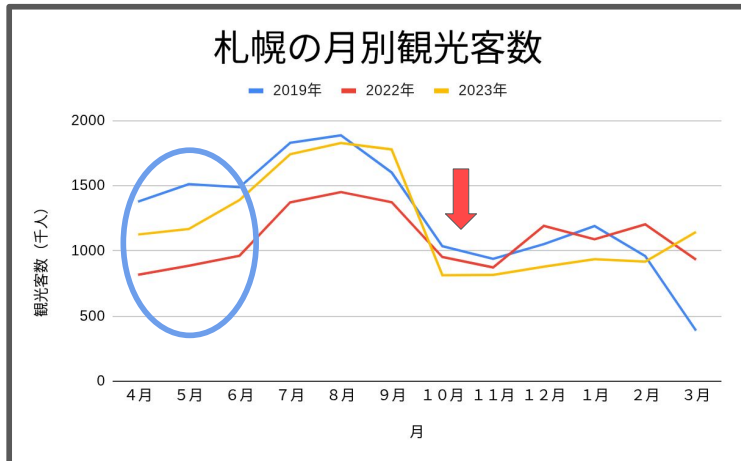
観光需要が下がる時期に効果的な  
イベントを提案

## 2. 研究方法

月別の観光客数・宿泊客数のオープンデータから  
四半期ごとの観光動向を調査

→ どのような傾向があるか読み取り観光需要を分析

## 3. 結果と分析



### ① 観光需要が高い時期 (夏、冬)

#### ・7月~9月 (夏)

観光客数、宿泊客数共に年間でトップであり、札幌の観光需要として明確なピークである

#### ・1月~3月 (冬)

観光客数だけでいえば低水準だが、秋からの宿泊客数の増加が顕著であり、観光需要の回復が行われている

### ② 観光需要が低い時期 (春、秋)

#### ・4月~6月 (春)

年度ごとの観光客数の差が大きく、最低値となる時期もあるため、観光需要が不安定である

#### ・10月~12月 (秋)

観光客数、宿泊客数共に年間で最も低くなる時期であり、札幌の観光需要の「谷」といえる

### ③ 観光需要が低くなる理由

- ✓ 観光動機の不足 (観光需要ピークの7月~9月の前後の時期である)
- ✓ 季節的魅力の弱さ (雪解け直後の景観の不安定さ、気候の中途半端さ)
- ✓ 行動機会の乏しさ (長期休暇の有無)

それらを踏まえ... **4月~6月、10月~12月にイベントを提案**

## 4. 考察

### 【4月~6月に提案すべきイベント】

この時期には観光動機を作るための春独自のイベントが必要。

**イベント名: 花見ジンギスカンフェス in 札幌**

**開催場所: 前田森林公園 (手稲区)**

- ↳ 桜×ジンギスカンが公式に許可されている札幌市内では少数の場所であり、桜の規模も札幌でも最大級。
- ・しかし、アクセスの仕方が地下鉄宮の沢駅→中央バスで30分程度とあまりに交通が不便のため、大通駅周辺から、イベント期間中のみ、バスの直行便を運行。

**内容: 他の都市にはない「体験型」の花見。**

北海道の代表的な食であるジンギスカンBBQを桜と共に焼いて食べる。

- ↳ ジンギスカンは観光ブランド性が高く、体験型にすることで、地域文化に直接触れられる+独自性も獲得し、他の桜の名所との差別化を図る。

### 【10月~12月に提案すべきイベント】

紅葉から雪までの時期は空いており、このような景色は出向かなくても楽しむことができる。

「食」は既に多くのイベントが開催。これ以上成果を出すのは難しい。そのため、この時期にイベントを提案するなら**音楽ライブ**が最も効果を望めると考えられる。

**イベント名: 北の超音楽祭**

**開催場所: 大和ハウス プレミストーム (豊平区)**

- ↳ 屋内施設なので天候に左右されない上、中途半端な気候も補うことができ、大規模な集客が可能。
- ・しかし、地下鉄福住駅から徒歩10分、バスはほとんど1時間に1本と少なくアクセスが悪い。大規模イベント開催時のシャトルバスをこのイベントでも運行。

**内容: さまざまなアーティストや地域の学生のバンドを呼び込み、ライブを行う。**

- ↳ 「札幌だからできる」という強みは小さいが多くの世代にでき、地域の人々も視野に入れることによって、基盤となる観光客数を確保できる。

## 5. 参考文献

- ・札幌市経済観光局: [https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/documents/sapporo-no-kanko-r6.pdf?utm\\_source=chatgpt.com](https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/documents/sapporo-no-kanko-r6.pdf?utm_source=chatgpt.com)
- ・観光庁 宿泊旅行統計調査: [https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei\\_hakusyo/shukuhakutokei.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shukuhakutokei.html)